

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-2_道路の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-02-01	幹線道路の整備	08040_01	国道建設推進対策事業
4-02-01	幹線道路の整備	08045_01	上部東西線改良事業(街路)
4-02-01	幹線道路の整備	08060_01	道路整備事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08062_01	都市計画街路事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08077_01	上部東西線改良事業(地方道)
4-02-01	幹線道路の整備	08272_01	宇高西筋線改良事業
4-02-01	幹線道路の整備	08299_01	宇高西筋線改良事業(街路)
4-02-02	生活道路の充実	06263_01	跨高速道路橋耐震対策事業
4-02-02	生活道路の充実	08014_01	橋りょう長寿命化事業
4-02-02	生活道路の充実	08100_01	市道敷地内未登記処理事業
4-02-02	生活道路の充実	08120_01	道路整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08212_01	別子山地区市道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08216_01	道路緊急舗装等事業
4-02-02	生活道路の充実	08279_01	新居浜東港線側道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08294_01	別子山地区市道等管理事業
4-02-02	生活道路の充実	08297_01	ツヅラオ線改良事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08015_01	交通安全施設整備事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08252_01	自転車道整備事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08298_01	原地庄内線改良事業

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08040_01		
事業名(行目名称)		国道建設推進対策事業	細事業名 国道建設推進対策事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	国道11号新居浜バイパスの部分供用に併せ、市道の新設整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	国道11号新居浜バイパスの整備に伴い、地元の道路環境の向上を図るため、生活道路の整備を実施する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			33,000	33,000	27,714	○工事請負費 33,000千円	
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		29,700	29,700	24,900		
	その他		0	0	0		
	一般財源		3,300	3,300	2,814		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値			100	100	
		実績			87.2	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
工事に着手しており、今年度の完成を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和5年度で工事が完了することにより、予算は当面休止する。							
7							
成果		総合評価(令和5年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
国道11号新居浜バイパス(3-1工区)に伴う周辺道路の整備が完了したため、当面休止とする。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08045_01			
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(街路)	細事業名	上部東西線改良事業(街路)				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園、山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民の生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		113,014	207,500	207,500	69,935	<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 2,300千円 ○委託料 8,200千円 ○工事請負費 58,000千円 ○公有財産購入費 49,000千円 ○補償補填及び賠償金 90,000千円 		
財源	県・国支出金	60,308	110,000	110,000	38,080			
	地方債	44,400	81,000	81,000	28,100			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	8,306	16,500	16,500	3,755			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値	23.5	31.7	36.3	41.0	53.0
			実績	19.1	26	34.7	35.0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
用地交渉に不測の日数を要しており、用地買収等の進捗が遅れているが、引き続き事業を実施し、早期開通を目指す。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
早期開通に向け、予算を拡大する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
用地交渉に不測の日数を要し用地買収等が遅れている箇所もある。用地買収の遅れにより、工事の発注も遅れていたが、一部の区間では道路改良工事に着手し、事業の進捗を図った。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08060_01		
事業名(行目名称)		県営事業負担金(道路)	細事業名	道路整備事業負担金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路の整備)・地方拠点間を結ぶ県道の整備。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,839	10,000	10,000	9,848	○負担金補助及び交付金 10,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,839	10,000	10,000	9,848		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
市内の県道の規格整備率(%)		目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
		実績	86.3	86.4	86.4	86.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
課題等はないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
愛媛県の事業予定費の増により拡大する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
市内の幹線道路網整備において必要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08062_01		
事業名(行目名称)		県営事業負担金(街路)	細事業名	都市計画街路事業負担金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路、市内幹線道路の整備)・渋滞の緩和を図り、道路渋滞による損失時間を削減する。・歩行者や自転車が安心かつ快適に通行できる道路空間の創出。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 38,808千円	
経費		65,031	38,808	50,433	50,355		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	58,000	33,900	46,300	46,300		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,031	4,908	4,133	4,055		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
市内の県道の規格整備率(%)		目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
		実績	86.3	86.4	86.4	86.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
課題等は特にないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
愛媛県の事業予定費の減少により縮小する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内の幹線道路網整備において重要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08077_01			
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(地方道)	細事業名	上部東西線改良事業(地方道)				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園、山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		123,191	158,100	208,882	100,313	<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 1,100千円 ○委託料 11,000千円 ○工事請負費 55,000千円 ○公有財産購入費 38,000千円 ○補償補填及び賠償金 53,000千円 		
財源	県・国支出金	66,775	85,800	114,885	55,172			
	地方債	49,100	63,100	84,500	40,600			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	7,316	9,200	9,497	4,541			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値	23.4	33.8	41.2	48.7	61.7
			実績	18.9	30.5	39.6	41.8	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
用地交渉に不測の日数を要しており、用地買収等の事業進捗が遅れているが、引き続き事業を実施し、早期開通を目指す。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
早期開通に向けて、現状の予算を維持する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当					
用地交渉が難航し、契約時期が遅れていたが、予定していた用地買収は完了した。また、用地買収の遅れにより工事の発注も遅れていたが、一部の区間では道路改良工事に着手し、事業の進捗を図った。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08272_01			
事業名(行目名称)		宇高西筋線改良事業	細事業名	宇高西筋線改良事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	宇高西筋線(松の木東雲線)の安全な交通空間の確保を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		75,560	93,500	69,234	68,815	○役務費 700千円 ○委託料 1,000千円 ○工事請負費 85,000千円 ○公有財産購入費 1,000千円 ○補償補填及び賠償金 5,800千円		
財源	県・国支出金	41,266	50,490	38,014	37,784			
	地方債	30,400	37,100	28,000	27,800			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,894	5,910	3,220	3,231			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値	42	81.1	90.5	100	-
			実績	34.1	60.9	88.3	100	-
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
令和5年度中の完成を目指して、事業を推進する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
令和5年度に事業完了のため、廃止								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
令和6年2月20日に道路の供用を開始し事業は完了した。安全・安心な交通空間の確保ができた。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08299_01		
事業名(行目名称)		宇高西筋線改良事業(街路)	細事業名	宇高西筋線改良事業(街路)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	都市計画道路「宇高西筋線」の安全な交通空間の確保を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 26,000千円	
経費			26,000	26,000	0		
財源	県・国支出金		14,300	14,300	0		
	地方債		10,500	10,500	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		1,200	1,200	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費		目標値			1.5	3	6
		実績			0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新居浜市と愛媛県が整備する区間の交差点部の協議に不測の日数を要し、事業認可の取得が遅れていたが、今後は早期開通を目指し事業を進捗する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
早期開通に向けて予算を拡大する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
事業認可の遅れに伴い設計業務が遅れていたが、現在は道路線形が決定し、用地測量業務にも着手が出来た。引き続き事業を実施し、事業進捗を図る。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	06263_01		
事業名(行目名称)		跨高速道路橋耐震対策事業	細事業名	跨高速道路橋耐震対策事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	農林水産課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	跨高速道路橋	数値	1橋			
	手段(どうやって)	NEXCO西日本に耐震補強工事を委託する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	跨高速道路橋を耐震補強工事し、市民及び高速道路利用者の安全安心を守る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 24,100千円	
経費			24,100	24,100	0		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		21,600	21,600	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		2,500	2,500	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
耐震補強数		目標値			1	1	-
		実績			0	1	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
他の工事との調整により工事の進捗が遅れている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
対象の跨高速道路橋の耐震補強工事は今年度で完了。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
令和5年度事業にて対象橋の耐震補強が完了するため、次年度は休止する。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	08014_01		
事業名(行目名称)		橋りょう長寿命化事業		細事業名 橋りょう長寿命化事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実		担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	橋梁			数値	353橋		
	手段(どうやって)	平成26年度に策定した路線の重要度や損傷の重大性を考慮した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	従来の事後的な修繕を見直し、予防的な修繕を行うことによって、補修費用のトータルコスト縮減及び橋梁の長寿命化を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		47,814	277,400	277,400	124,371			
財源	県・国支出金	22,740	135,645	135,645	61,268	○委託料 200,700千円 ○工事請負費 76,700千円		
	地方債	5,100	97,600	97,600	37,400			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	19,974	44,155	44,155	25,703			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度		
修繕実施橋梁数(橋)			目標値	13	5	24	24	19
			実績	13	5	16	17	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
建設から50年を超える橋梁が増えており、引続き点検・修繕による長寿命化を図る。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
点検で判明した「機能に支障が生じる可能性のある橋梁」について、早期に措置を講ずる必要がある。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化した橋梁の補修を実施し、長寿命化並びに今後の維持管理コストの削減が図られた。今後も、継続して老朽化した施設の補修、更新を実施していく。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08100_01		
事業名(行目名称)		市道敷地整理費	細事業名	市道敷地内未登記処理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	未登記敷地	数値	17,000筆			
	手段(どうやって)	地権者との協議調整、境界立会、関係機関法務局・地方局等との連絡調整を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道敷きにおける境界の確認や分筆登記等を行うことにより、市道敷地の権原を明らかにする。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,532	1,790	1,790	428	○役務費 4千円 ○委託料 1,786千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,532	1,790	1,790	428		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
未登記処理総筆数		目標値	879	896	920	920	920
		実績	878	900	901	905	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
例年同様、地権者との協議調整を行い、境界立会を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市道を適正に管理するため、引き続き市道敷きの境界・権原を明らかとし確定させる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市道敷の境界、権原を明らかとし確定させることで、市道の適正な管理が可能となった。引き続き境界立会を実施し地権者との協議調整を行い、市道敷きの境界・権原を明らかにしていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2023	08120_01		
事業名(行目名称)		道路整備事業		細事業名 道路整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実		担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	113,466人		
	手段(どうやって)	舗装や側溝、ガードレール等の道路付属物などの修繕、街路樹の剪定や除草、道路の拡幅や隔切りを実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の道路施設を常時良好な状態に保つとともに安全安心な道路環境の整備を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		236,787	140,000	220,000	190,900	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 350千円 ○需用費 20,918千円 ○役務費 2,050千円 ○委託料 75,000千円 ○工事請負費 33,000千円 ○原材料費 1,400千円 ○公有財産購入費 2,000千円 ○負担金補助及び交付金 282千円 ○補償補填及び賠償金 5,000千円 		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	236,787	140,000	220,000	190,900			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
道路施設補修要望(過去3年間)に対する実施率(%)			目標値	100	100	100	100	100
			実績	38.6	10.2	32.6	26.5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
市内の道路施設の老朽化が進んでおり、緊急性があり、優先度の高い修繕箇所が増えている。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
道路施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕の実施が必要となっている。また、道路の改良要望についても、地元の協力が不可欠であり、今後、丁寧な事業推進を実施するため、継続的な予算確保が必要となっている。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化が進んだ道路施設については、計画的に修繕を実施することが出来た。街路樹、除草等の道路環境の向上についても計画的に取り組むことが出来たが、市民からの要望件数が増えており、今後も事業の推進を図る必要がある。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08212_01		
事業名(行目名称)		別子山地区市道整備事業	細事業名	別子山地区市道整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	愛媛県の地滑り対策工事が完了後に、道路の路肩や側溝の整備を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	交通環境の改善に努め、市民生活の安全性と利便性の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 20,000千円	
経費			20,000	20,000	19,913		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		20,000	20,000	19,900		
	その他		0	0	0		
	一般財源		0	0	13		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値			100	100	
		実績			96.3	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
道路の老朽化は進んでいるが、利用状況等から優先順位を決める必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和5年度で工事が完了したことにより、予算は当面休止とする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
事業が完了し、市民生活の安全性と利便性の確保ができた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08216_01			
事業名(行目名称)		道路緊急舗装等事業	細事業名	道路緊急舗装等事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人				
	手段(どうやって)	路面性状調査で抽出された修繕区間や市民要望を考慮し、補修の優先度の高い区間から舗装工事を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	道路路面の適切な維持管理を実施し、道路利用者の安全かつ快適な通行を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		100,000	100,000	100,000	98,721	○工事請負費 100,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	11,050			
	地方債	24,200	24,000	24,000	23,400			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	75,800	76,000	76,000	64,271			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度	
舗装補修箇所路線数			目標値	13	13	11	13	
			実績	13	13	10	13	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
舗装の耐用年数を延ばすためには、舗装下の層の改良も必要となる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
道路は時間と共に老朽化するものであり、道路利用者の安全な通行を確保するためには、一定の事業費の確保が必要である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
老朽化が進んでいる舗装箇所の補修を進め、安全で安心な通行環境の確保が図れた。今後も、継続して老朽化した舗装の修繕を実施していく。								

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報		事後評価	2023	08279_01			
事業名(行目名称)		新居浜東港線側道整備事業	細事業名	新居浜東港線側道整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	県道新居浜東港線の建設に併せて、市道の新設整備のため、用地買収を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	県道新居浜東港線の円滑な事業進捗と地元の道路環境の向上のために生活道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度決算額(千円)	令和5年度(千円)		令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		35,114	136,000	81,231	59,853		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		122,400	73,100			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	35,114	13,600	8,131	59,853		
○委託料 5,000千円 ○公有財産購入費 13,000千円 ○補償補填及び賠償金 118,000千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%)(累積事業費/総事業費)		目標値	43.5	76.2	83.5	83.5	86.2
		実績	24.7	37.7	50.6	62.2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
引き続き地権者と協議を行い、用地補償内容に理解が得られるよう事業を進める必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
愛媛県の事業進捗に併せて事業費を確保する必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
残り2箇所の未買収地のうち、1箇所は契約することができた。残り1箇所は相続問題が発生しているが、令和6年度に解決する見込みであり、引き続き交渉を進めていく。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08294_01		
事業名(行目名称)		別子山地区市道等管理事業費	細事業名	別子山地区市道等管理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区内の市道及び林道		数値	18路線		
	手段(どうやって)	市道及び林道の除草を年2回を計画的に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区における市道及び林道の整備を図り、市民及び観光客などが円滑かつ安全な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 3,302千円	
経費		3,301	3,302	3,302	3,302		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,301	3,302	3,302	3,302		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
実施路線数		目標値		18	18	18	18
		実績		18	22	22	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市道及び林道の除草を年2回(6月、9月)に行った。別子山地区全部の市道、林道の草刈りを行うことはできなかったが、草刈りを行った事により、地元民や登山者から草の繁茂による苦情がなかった。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
別子山地区全部の市道、林道の草刈りを行うことはできないが、草刈りを行わなかった場合、草の繁茂による苦情が出る事が想定されるため、引き続き事業を行いたい。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
別子山地区すべての市道・林道の草刈りはできないが、草刈りをすることで市民及び観光客が安全な通行ができたため、草の繁茂による苦情が出なかった。引き続き事業を実施したい。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08297_01		
事業名(行目名称)		ツツラオ線改良事業	細事業名 ツツラオ線改良事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	113,466人		
	手段(どうやって)	落石防護ネット等を施工する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	令和4年度に落石が発生しており、利用者が安全安心に通行が出来るように、危険箇所の改修を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 50,000千円	
経費		4,338	50,000	50,000	49,624		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	4,300	50,000	50,000	49,600		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	38	0	0	24		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%)=累積事業費/総事業費			目標値		100	100	-
			実績			70	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する				
安全安心な通行を確保するため、現状のまま事業を進める。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
令和5年度で工事が完了するため、休止とする。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)		D:事業の統合・休廃止を検討			
令和5年度で事業は完了し、安全な交通空間が確保できた。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08015_01		
事業名(行目名称)		交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	交通安全施設(防護柵、道路照明等、反射鏡、標識及び路面表示等)の設置及び既存施設の更新、維持補修					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道及び生活道路の交通安全施設の整備を行うことで、交通安全の確保を図り、人に優しい交通環境の整備を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		18,205	20,000	20,000	19,998	○工事請負費 19,000千円 ○原材料費 1,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		18,205	20,000	20,000	19,998		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
(実施箇所数/要望箇所数)×100%			目標値	60	60	60	60
			実績	40	60	40	52
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新設要望も多く、点検や修繕等の維持管理が不十分となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
安全安心な交通環境整備のため、引き続き継続して事業を実施していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
交通安全施設の整備を行い、交通安全空間の確保ができた。道路付属施設の点検にも力を入れる必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08252_01		
事業名(行目名称)		自転車道整備事業	細事業名	自転車道整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」に基づき、自転車通行帯のカラー化や路面標示による通行位置の明示などを行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	安全で快適な自転車利用環境の創出を推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		11,702	10,000	5,000	2,859	○工事請負費 10,000千円	
財源	県・国支出金	6,436	5,500	2,750	1,572		
	地方債	4,700	4,000	2,000	1,200		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	566	500	250	87		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
自転車専用通行空間の整備延長(km)		目標値	35.2	36.3	36.9	36.9	44.1
		実績	35.2	36.3	36.9	36.9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
安全で快適な自転車利用環境の整備のため、自転車通行帯のカラー化等による路面標示を継続して実施していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新居浜市自転車ネットワーク整備計画に基づき、引き続き事業を継続して整備をしていく必要がある。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和5年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
自転車通行帯のカラー化や、路面標示による通行位置の明示等を行い、安全で快適な自転車利用環境が確保できた。新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画に基づき、継続して事業を実施していく必要がある。							

令和5年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2023	08298_01		
事業名(行目名称)		原地庄内線改良事業	細事業名	原地庄内線改良事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	113,466人			
	手段(どうやって)	2箇所の交差点において、右折レーンの増設や設置を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	当路線は愛媛県渋滞対策評議会において、主要渋滞対策検討箇所として指定されており、慢性的な交通渋滞が発生していることから渋滞の解消のために交差点改良を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和4年度 決算額(千円)	令和5年度(千円)			令和5年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			118,000	60,600	16,600	○工事請負費 118,000千円	
財源	県・国支出金		59,000	30,300	8,300		
	地方債		53,100	27,200	7,400		
	その他		0	0	0		
	一般財源		5,900	3,100	900		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和3年度	令和4年度	令和5年度中間値	令和5年度	令和6年度
事業進捗率(%) = 累積事業費 / 総事業費			目標値		50	50	100
			実績			0	14
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
電柱所有者等、支障物件の移転協議に不測の日数を要しているため、次年度も引き続き継続して事業を実施する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
交通渋滞を解消し、安全性の確保と利便性の向上を図るため、継続して事業を実施していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和5年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
車道部の拡幅に必要な電柱の移設協議や沿線店舗の車両の乗入協議に時間を要したが、令和5年度中に工事着手ができた。引き続き継続して事業を実施していく必要がある。							

令和〇年度 事務事業評価表

I 基礎情報							
事業名(行目名称)				細事業名			
総合計画	フィールド			施策			
	基本計画			担当課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)				数値		
	手段(どうやって)						
	目的(どんな状態にしたいのか)						
III 投入費用							
実施年度		令和〇年度 決算額(千円)	令和〇年度(千円)			令和〇年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	現執行額	決算額		
経費							
財源	県・国支出金			-			
	地方債			-			
	その他			-			
	一般財源			-			
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和〇年度	令和〇年度	令和〇年度中間値	令和〇年度	令和〇年度
		目標値			-		
		実績					-
V 事中評価							
評価視点		妥当性		有効性		効率性	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向					
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和〇年度)						
事中評価	作成担当者		最終評価責任者				
事後評価	作成担当者		最終評価責任者				